

## 【参考資料①】

「【文部科学省】学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和6年4月 追補版）」p.16-18より抜粋

### (1) 気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律の概要

**気候変動適応法及び独立行政法人環境再生保全機構法の一部を改正する法律の概要**
環境省

気候変動適応の一分野である熱中症対策を強化するため、**気候変動適応法**を改正し、熱中症に関する政府の対策を示す**実行計画**や、熱中症の危険が高い場合に国民に注意を促す**特別警戒情報**を法定化するとともに、特別警戒情報の発表期間中における**暑熱から避難するための施設の開放措置**など、熱中症予防を強化するための仕組みを創設する等の措置を講じるものです。

#### ■ 背景

- 熱中症対策については、関係府省庁で普及啓発等に取り組んできたが、熱中症による**死亡者数の増加傾向**が続いており、近年は、**年間1,000人を超える年**も。
- 「**熱中症警戒アラート**」（本格実施は令和3年から）の発表も実施してきたが、**熱中症予防の必要性**は未だ国民に十分に浸透していない。
- 今後、地球温暖化が進めば、**極端な高温の発生リスクも増加**すると見込まれることから、法的裏付けのある、より積極的な熱中症対策を進める必要あり。

熱中症による死者(5年移動平均)の推移

出典：人口動態統計から環境省が作成

自然災害及び熱中症による死者数

|       | 自然災害 | 熱中症    |
|-------|------|--------|
| 2017年 | 329人 | 635人   |
| 2018年 | 452人 | 1,581人 |
| 2019年 | 159人 | 1,224人 |
| 2020年 | 328人 | 1,528人 |
| 2021年 | 150人 | 755人   |
| 2022年 | 26人  | 1,477人 |

出典：令和5年防災白書及び人口動態統計

日本の年平均気温偏差

出典：気象庁「日本の年平均気温」

#### ■ 主な改正内容

|       | 現状                                                                                                                                                                                                     | 気候変動適応法の改正により措置                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国の対策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境大臣が議長を務める熱中症対策推進会議（構成員は関係府省庁の担当部局長）で<b>熱中症対策行動計画</b>を策定（法の位置づけなし）</li> </ul> <p><small>（関係府省庁：内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、観光庁、気象庁）</small></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li><b>熱中症対策実行計画</b>として法定の閣議決定計画に格上げ</li> <li>→関係府省庁間の連携を強化し、これまで以上に総合的かつ計画的に熱中症対策を推進</li> <li><small>※熱中症対策推進会議は熱中症対策実行計画において位置づけ</small></li> </ul>                                                                                           |
| アラート  | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境省と気象庁とで、<b>熱中症警戒アラート</b>を発信（法の位置づけなし）</li> <li>※本格実施は令和3年から</li> </ul> <p>現行「アラート」の告知画像</p>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>現行アラートを<b>熱中症警戒情報</b>として法に位置づけ</li> <li>さらに、より深刻な健康被害が発生し得る場合に備え、一段上の<b>熱中症特別警戒情報</b>を創設（新規）</li> <li>→法定化により、以下の措置とも連動した、より強力かつ確実な熱中症対策が可能に</li> </ul>                                                                                     |
| 地域の対策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>海外においては、極端な高温時への対策としてクーリングシェルターの活用が進められているが、国内での取組は限定的</li> <li>独居老人等の熱中症弱者に対する地域における見守りや声かけを行う自治体職員等が不足</li> </ul>                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村長が冷房設備を有する等の要件を満たす施設（公民館、図書館、ショッピングセンター等）を<b>指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）</b>として指定（新規）</li> <li>→指定暑熱避難施設は、特別警戒情報の発表期間中、一般に開放</li> <li>市町村長が熱中症対策の普及啓発等に取り組む民間団体等を<b>熱中症対策普及団体</b>として指定（新規）</li> <li>→地域の実情に合わせた普及啓発により、熱中症弱者の予防行動を徹底</li> </ul> |

+

<施行期日>

- 熱中症対策実行計画の策定に関する規定：公布の日から1月以内で政令で定める日（令和5年6月1日）
- その他の規定：公布の日から1年以内で政令で定める日（令和6年4月1日）

**独立行政法人環境再生保全機構法の改正により措置**

- 警戒情報の発表の前提となる情報の整理・分析等や、**地域における対策推進**に関する情報の提供等を環境再生保全機構の業務に追加
- 熱中症対策をより**安定的かつ着実**に行える体制を確立

**政府・市町村等関係主体の連携した対策の推進により、熱中症死亡者数の顕著な減少を目指す**

【参考資料①】

「【文部科学省】学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和 6 年4月 追補版）」p.16-18 より抜粋

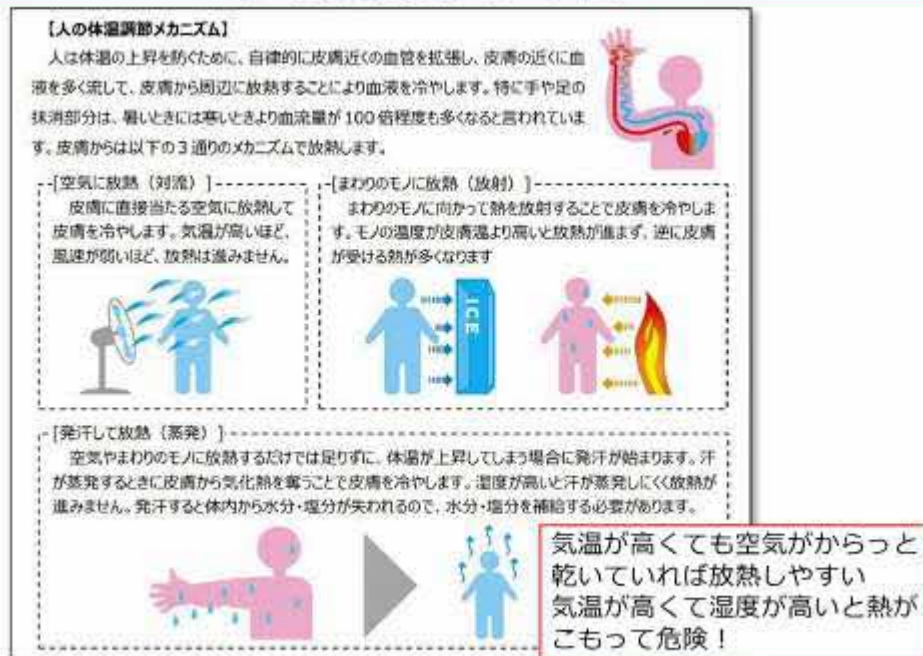
表 1 熱中症警戒情報と熱中症特別警戒情報について

|      | 熱中症警戒情報                                                                                                                           | 熱中症特別警戒情報                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般名称 | 熱中症警戒アラート                                                                                                                         | 熱中症特別警戒アラート                                                                                                                                     |
| 位置づけ | 気温が著しく高くなることにより熱中症による <u>人の健康に係る被害が生ずるおそれがある場合</u> （熱中症の危険性に対する気づきを促す）<br><br><これまでの発表回数><br>R3: 613回, R4: 889回, <b>R5:1,232回</b> | 気温が <u>特に</u> 著しく高くなることにより熱中症による <u>人の健康に係る重大な被害が生ずるおそれがある場合</u><br>（全ての人が、自助による個人の予防行動の実践に加えて、共助や公助による予防行動の支援）<br><br><過去に例のない広域的な危険な暑さを想定>    |
| 発表基準 | 府県予報区等内のいずれかの暑さ指数情報提供地点における、日最高暑さ指数（WBGT）が <b>33</b> （予測値、小数点以下四捨五入）に達すると予測される場合                                                  | 都道府県内において、 <b>全ての</b> 暑さ指数情報提供地点における翌日の日最高暑さ指数（WBGT）が <b>35</b> （予測値、小数点以下四捨五入）に達すると予測される場合<br><br>（上記以外の自然的社会的状況に関する発表基準について、令和 6 年度以降も引き続き検討） |
| 発表時間 | 前日午後5時頃 及び 当日午前5時頃                                                                                                                | 前日午後2時頃<br>（前日午前 1 0 時頃の予測値で判断）                                                                                                                 |
| 表示色  | 紫（現行は赤）                                                                                                                           | 黒                                                                                                                                               |

【文部科学省】学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和 6 年4月 追補版）」p.7 より抜粋挿入

(2)人の体温調節メカニズム

## 人の体温調節メカニズム



出典）まちなかの暑さ対策ガイドライン（環境省）

## 【参考資料①】

「【文部科学省】学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き(令和6年4月 追補版)」p.16-18より抜粋

### (3) 暑さ指数(WBGT)について

#### 暑さ指数 (WBGT) について

暑さ指数 (WBGT) とは **WBGT: Wet Bulb Globe Temperature**

- ◆ 人体と外気との熱のやりとり (熱収支) に着目し、  
**気温、湿度、日射・輻射、風** の要素をもとに算出する指標



暑さ指数 (WBGT) 測定装置

#### 暑さ指数 (WBGT) の算出

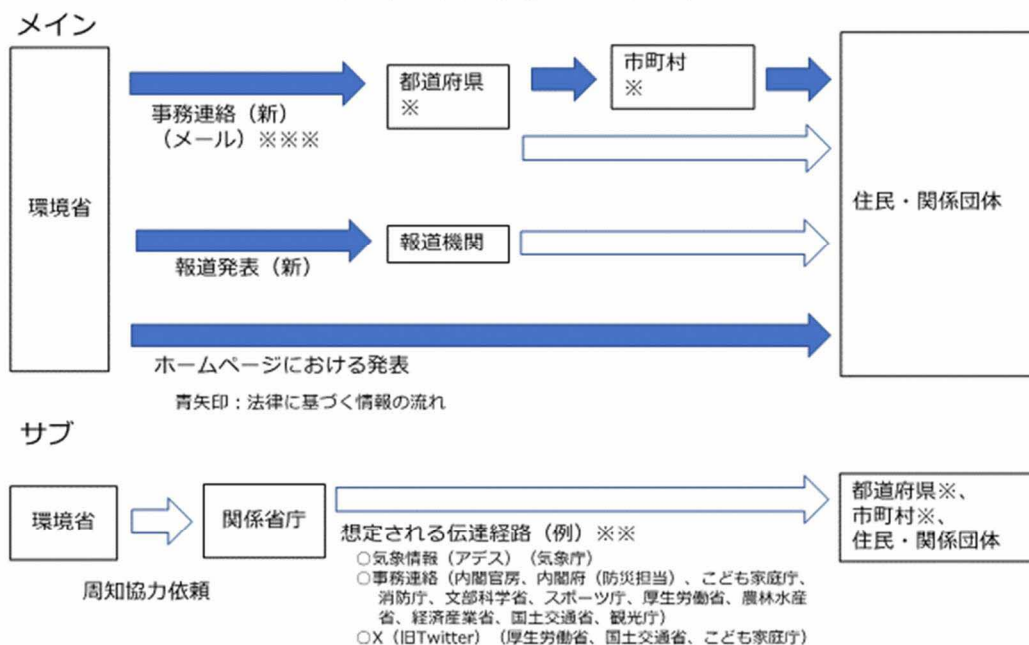
【算出式】  $WBGT = 0.7 \times \text{湿球温度} + 0.2 \times \text{黒球温度} + 0.1 \times \text{乾球温度}$

- **乾球温度**: 通常の温度計が示す温度。いわゆる気温のこと。
- **湿球温度**: 湿度が低い程水分の蒸発により気化熱が大きくなることを利用した、空気の湿り具合を示す温度。湿球温度は湿度が高い時に乾球温度に近づき、湿度が低い時に低くなる。
- **黒球温度**: 黒色に塗装した中空の銅球で計測した温度。日射や高温化した路面からの輻射熱の強さ等により、黒球温度は高くなる。

※ 気象庁データに基づいた、全国約840地点の暑さ指数の実況値や予測値が「環境省 熱中症予防情報サイト」(<https://www.wbgt.env.go.jp/>) で公開されています。

### (4) 熱中症特別警戒情報の主な伝達経路

#### 熱中症特別警戒情報の主な伝達経路



※ 都道府県、市町村において、地域の実情に応じて、既存の枠組の活用を含めて伝達経路は選択可能

例: 都道府県・市町村の情報伝達システム、防災無線、Lアラート、メール、電話、回覧、広報紙、声かけ等

※※ 様々なルートやツールを通じて熱中症特別警戒情報を広く国民に届けるとともに、一層の予防行動が必要であることを強く呼びかける。

例: 気象庁は、熱中症特別警戒情報が発表された際には、気象に関する今後の見通しや解説を行うための情報の中で熱中症特別警戒情報の発表状況に言及し、サブルートとして周知に協力する。

※※※ 環境省から都道府県への連絡については、該当都道府県のみならず近隣の都道府県を含む全国に注意喚起が必要なことから、事前に登録いただいた宛先にメーリングリストなどで送付